

# フォレストニュース

植林が地球を救う

令和5年(2023)4月10日

No. 184

発行 高津啓洋

## 植樹の最前線、湘南支部の活動

3月18日(土)に平塚市上吉沢にある進和学園と(株)湘南小巻ファームを見学しました。参加者は10名でした。進和学園は、どんぐりや木の実に植樹用のポット苗を栽培し、植樹を実践しています。施設の周りには、横浜国大の

宮脇昭先生の指導の下、植樹した雑木林があり、15年前の植樹過程を興味深く聞くことができました。また実際にビニールハウスでの数多くの樹種のポット苗を見学、説明を受け、今後の支部活動のヒントを受けました



所長よりレクチャー



苗木を育てるビニールハウス



植樹した雑木林



午後は、(株)湘南小巻ファームを見学。小巻秀任さんから、農場を始めた動機、無農薬、無化学肥料で在来の雑草を大事にし、森の落葉や茅のみを使って、土壌の微生物を育てる農法の話の話を聞きました。八剱神社にある御神木を実際に見学し、樹木にプレートを付け、宮脇方式で植えた木々

は立派に育っていました。植樹した雑木林はシイ、タブ、カシなどの土地本来のふるさとの樹種になり、環境防災保全林となります。湘南支部の活動見学は皆さん初めてで、雨の中、遠く日立からも参加があり、有意義な一日でした。